

## <馬毛島における現地調査について>

平成 31 年 1 月 防衛省

防衛省は、平成 23 年以降、南西地域における防衛態勢の充実のため、新たに自衛隊施設を整備し、大規模災害を含む各種事態に対処する際の活動を支援するとともに、通常の訓練等のために使用され、併せて米軍の空母艦載機着陸訓練（FCLP※）に使用される施設として、鹿児島県の馬毛島（まげしま）を候補地として検討を進めているところです。

※ FCLP（Field-Carrier Landing Practice）

本件検討を進めるに当たり、現況を把握し、今後、自衛隊の利用計画の検討や米側との協議をより具体的に行うため、今月下旬以降、馬毛島における物件調査、環境調査等の現地調査を実施いたします。

### 【現地調査の内容等】

（１）物件調査：馬毛島における建物、工作物等の現況を調査するもの。

業務項目：建物、工作物等の現況調査

期 間：10日～20日間程度

立入人数：最大9名程度/日



【主な建物及び工作物】

（２）環境調査：馬毛島の陸域における動植物の生息・生育状況及び馬毛島周辺の海域におけるサンゴ類や藻場の生息・生育状況を調査するもの。

業務項目：①陸域調査：陸域動物調査、植物調査

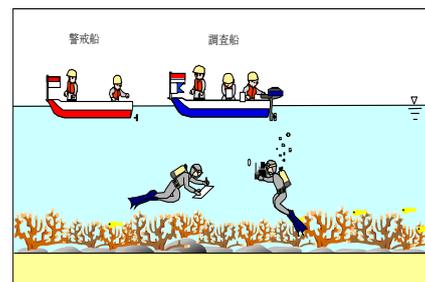
②海域調査：サンゴ類調査、藻場調査

期 間：毎月10日～20日間程度

立入人数：最大20名程度/日



【陸域調査のイメージ】



【海域調査のイメージ】

(3) 気象調査：馬毛島の風向及び風速を把握するため、風向・風速計を設置し、観測するもの。

業務項目：風向・風速の観測

期 間：15日～20日間程度（風向・風速計設置）、毎月1日程度（点検）

立入人数：最大5名程度/日

設置物：風向・風速計、鉄塔、フェンス等



【風向・風速計イメージ】

(4) 測量調査：馬毛島を対象とした航空写真測量等を行うもの。また、これに先立ち、必要な標識を設置するとともに、現地測量を行うもの。

業務項目：現地測量調査

期 間：10日間程度（2回程度）

立入人数：最大6名程度/日

設置物：標識、測量杭



【標識イメージ】



【航空測量調査のイメージ】